

## 【オーディオ部】

	KAC-829	KAC-629S
最大出力 (4 Ω)	ノーマル.....200W×2 ブリッジ.....600W×1	120W×2 350W×1
定格出力 (4 Ω)	ノーマル.....100W×2 (20 Hz~20 kHz、0.08 % THD) ブリッジ.....300W×1 (1 kHz、0.8 % THD)	60W×2 (20 Hz~20 kHz、0.08 % THD) 150W×1 (1 kHz、0.8 % THD)
(2 Ω)	ノーマル.....150W×2 (1 kHz、0.8 % THD)	75W×2 (1 kHz、0.8 % THD)
周波数特性 (+0, -1 dB)	.....5 Hz ~ 50 kHz	10 Hz ~ 45 kHz
S/N比	.....100 dB	100 dB
入力感度 (定格出力)	.....0.2 V ~ 5.0 V	0.2 V ~ 5.0 V
入力インピーダンス	.....10 kΩ	10 kΩ
ローパスフィルター	.....80 Hz (12 dB / oct.)	80 Hz (12 dB / oct.)
ハイパスフィルター	.....	150 Hz (12 dB / oct.)

## 【電源部】

	KAC-829	KAC-629S
電源電圧 (⊖アース)	.....14.4 V (11 ~ 16 V)	14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流 (1 kHz、10 % THD)	.....28 A	19 A

## 【寸法・重量】

	KAC-829	KAC-629S
外形寸法 (W×H×D)	.....221×57×300 mm	221×57×228 mm
質量 (重さ)	.....3.7 kg	2.8 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド  
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9  
(大阪) 電話(06)6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22  
受付時間9:20~17:40 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

# KENWOOD

パワーアンプ

## KAC-829 KAC-629S

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。  
株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION  
© PRINTED IN USA B64-1952-00 (JM)

ご使用の皆様へ

## 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：  
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- 注意** 記号は注意 (警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
- 禁止** 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
- 実施** 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

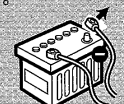
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 警告

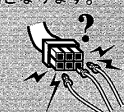
**禁止** 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V-アース車専用です。



**実施** 配線作業中は、バッテリーの端子を外して行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



**実施** 本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



**禁止** コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

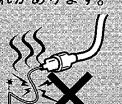


**注意** 本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。

**禁止** 本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



**禁止** 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



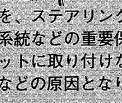
**実施** 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



**注意** 車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



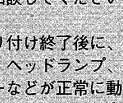
**禁止** アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



**実施** 本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



**実施** 事故防止のため、ネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



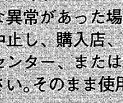
**実施** 本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



**実施** 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。  
●音量調節などのカーオーディオの操作



**注意** 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、



火災その他の事故の原因となります。  
●音が出ない ●異物が入った  
●水がかかった ●煙が出る  
●変な匂いがする

**実施** 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



**禁止** 製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

**注意** 修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

## 注意

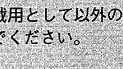
**実施** カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のためご購入の販売店へご依頼ください。

**禁止** パワーアンプの使用中は、表面の放熱部分に触れないでください。



**実施** 製品の通風口や放熱器をふさがしないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

**禁止** 製品は、車載用として以外の用途で使用しないでください。



# 操作方法

## ② オペレーション

- 増幅する入力信号を切り替えます。
- ▶ **STEREO** ポジション  
左右の信号を個別に増幅します。ステレオアンプとして使用します。
  - ▶ **L+R** ポジション (KAC-629Sのみ)  
左右の信号をミックスして増幅します。モノラルアンプとして使用します。
  - ▶ **MONO(Lch)** ポジション  
左側の信号のみ増幅します。モノラルアンプとして使用します。

## 電源関係

- ▶ ① ヒューズ  
20 A×2: KAC-829  
25 A×1: KAC-629S
- ▶ ② バッテリー電源端子
- ▶ ③ アース端子
- ▶ ④ パワーコントロール端子

MEMO ▶ 電源端子には端子カバーを被せてください。

## 入力関係

- ▶ ⑤ スピーカー入力端子  
純正ステレオの最大出力が40Wまで入力できます。
- ▶ ⑥ ライン入力
- ▶ ⑦ RCAケーブル用アース端子  
アースリード付きのRCAケーブルを使用するときにアースリード線を接続します。

MEMO ▶ スピーカー入力端子とライン入力端子を同時に接続しないでください。

## ⑧ スピーカー出力端子

- ▶ **ステレオ接続**  
ステレオアンプとして使用したいときは、ステレオ接続にします。スピーカーインピーダンスが2Ω以上に対応します。
- ▶ **ブリッジ接続**  
大出力のモノラルアンプとして使用したいときは、ブリッジ接続にします。(スピーカー出力端子のLch⑧とRch⑨端子に接続します。)スピーカーインピーダンスが4Ω以上に対応します。

## ① フィルター

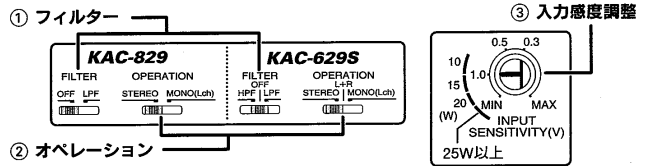
- 出力する周波数を設定します。
- ▶ **OFF** ポジション  
全帯域を出力します。
  - ▶ **LPF** (ローパスフィルター) ポジション  
80 Hzより低い周波数のみを出力します。出力が自動的にモノラル (左右ミックス) 音になります。
  - ▶ **HPF** (ハイパスフィルター) ポジション (KAC-629Sのみ)  
150 Hzより高い周波数のみを出力します。

## ③ 入力感度調整

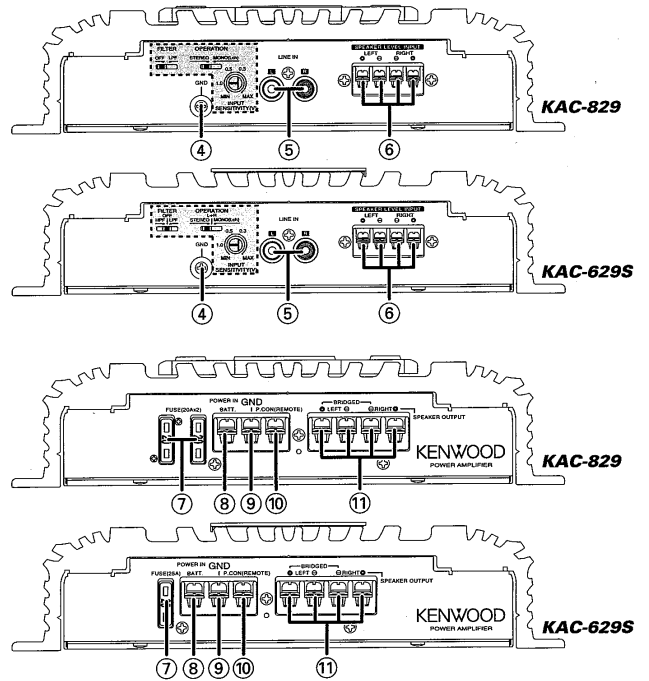
接続するセンターユニットのプリアウトレベル、または、純正カーステレオの最大出力に合わせて調整します。

プリアウトの出力電圧及び、スピーカー出力のワット数から図「③入力感度調整」を目安に設定してください。

MEMO ▶ プリアウトレベル/最大出力はセンターユニット/カーステレオの取扱説明書の「仕様一覧」のページを参照してください。

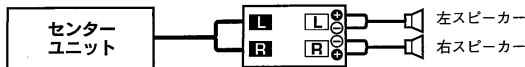


## ② オペレーション

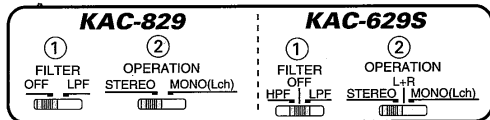


# システム例

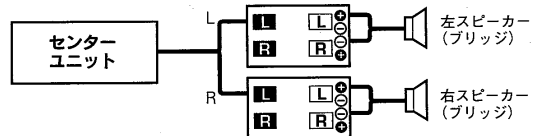
## 2チャンネルシステム



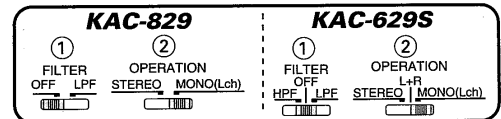
### スイッチ設定



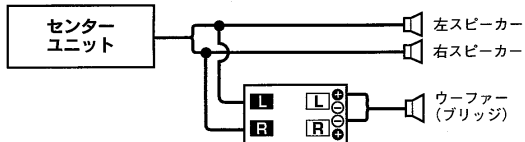
## ハイパワー2チャンネル



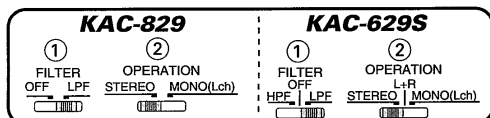
### スイッチ設定



## サブウーファーシステム

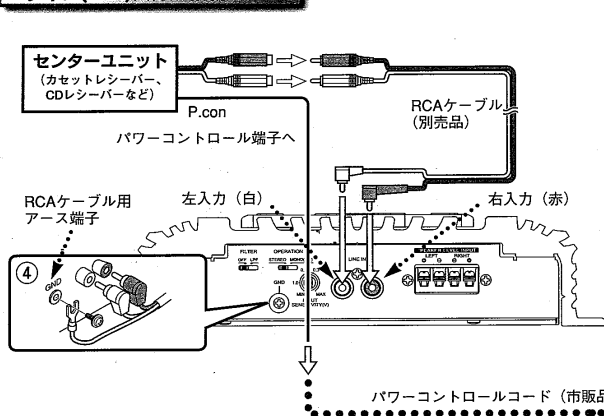


### スイッチ設定

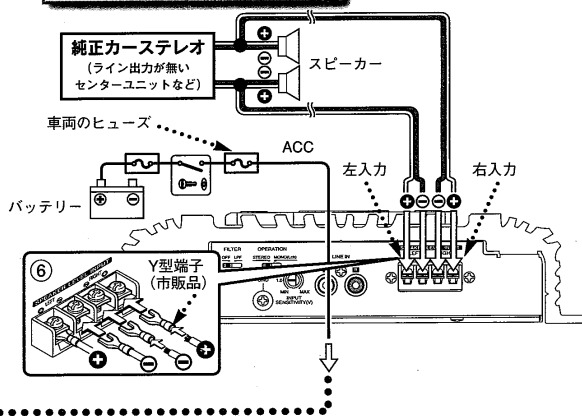


# 接続のしかた

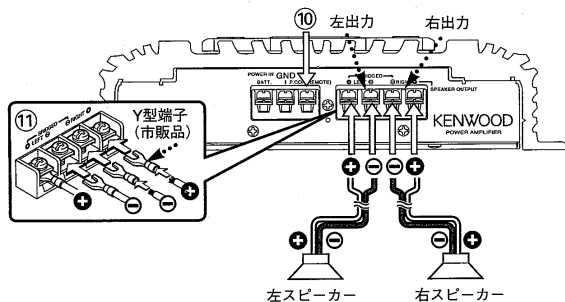
## ライン(RCA)入力の接続



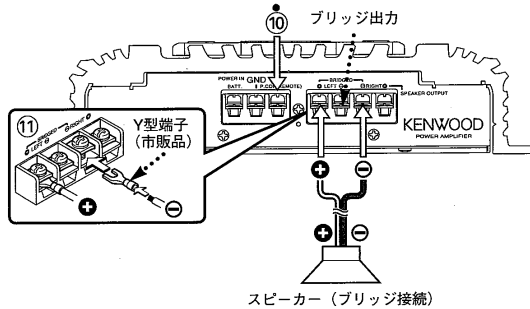
## スピーカーレベル入力の接続



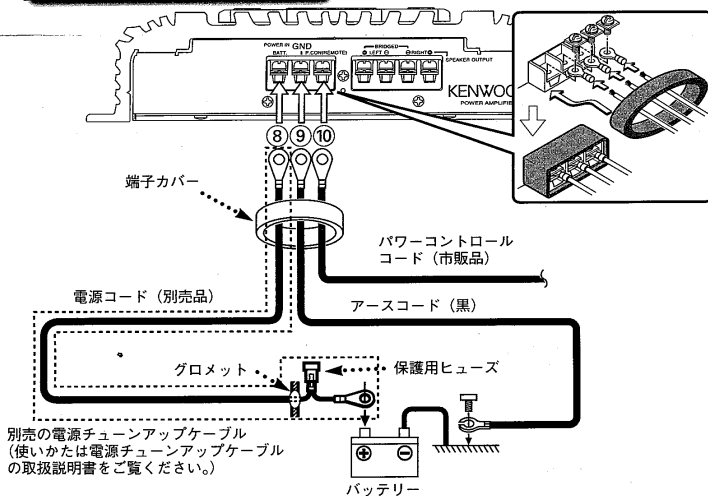
## スピーカーのステレオ接続



## スピーカーのブリッジ接続



## 電源の接続



### 電源端子

付属の端子カバーに通した電源コード、アースコード、パワーコントロールコードを、それぞれの端子に接続します。接続が終わったら端子部に端子カバーをかけます。

# 取り付けかた

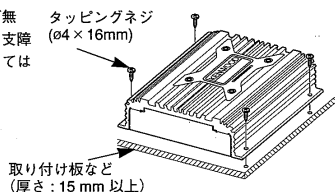
## 付属品

外形			
部品名×数量	アースコード (黒) (1m)×1	タッピングネジ (φ4×16mm)×4	端子カバー (電源端子用)×1

## 取り付けかた

パワーアンプには頻りに操作する部分が多く、運転席から離れた所に取り付けても支障ありません。一般的な取り付け場所としてはトランクルームが適しています。

タッピングネジ (φ4×16mm)



# 故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼されるまえに、下記のようなチェックを行ってください。

こんなとき どうして こうします

音が出ない (片側の音が出ない) (ブツブツ音がし、正常に音が出ない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>入出力ケーブルが外れている。</li> <li>プロテクション機能が働いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入出力ケーブルの接続を確認してください。</li> <li>“プロテクション機能”を参照して接続を確認してください。</li> </ul>
(ヒューズが切れている)	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量が大きすぎた。</li> <li>スピーカーコードがショートした。</li> <li>スピーカーの許容入力小さくしてスピーカーが破損した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒューズを交換し、音量を少し小さくしてください。</li> <li>スピーカーコードを確認しショート原因を取り除いてから、ヒューズを交換して使用してください。</li> <li>【接続するスピーカーについて】を参照し、スピーカーとヒューズを交換してください。</li> </ul>
音が小さい (大きい)	入力感度調整ツマミが正しく設定されていない。	“設定方法”を参照して正しく設定してください。
音質が悪い (音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーカーコードの⊕/⊖が正しく接続されていない。</li> <li>スピーカーコードが車両のネジにかみ込んでいる。</li> <li>切り替えスイッチの設定が間違えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーカーコードと端子の極性を正しく接続してください。</li> <li>スピーカーコードの配線を確認してください。</li> <li>“操作方法” “システム例”を参照して正しく設定してください。</li> </ul>

# 使用上のご注意

## 電源について

本機の電源はDC12V・マイナス接地となっています。これ以外の電源とは接続しないでください。

## システムを接続するときは

組み合わせるシステムに合わせて本機の入力感度調整 (INPUT SENSITIVITY) ツマミを調整してください。

ケンウッド製以外のシステムに接続すると電源のオン/オフができないことがあります。正常に動作することを確認してください。

## RCAケーブルについて

RCAケーブルの配線は、雑音発生源となる車両側電装品やハーネスなどの近くは避けて配線してください。

雑音が気になるときは2重シールドのRCAケーブル (別売品) をご使用ください。

## ヒューズが切れたときは

ヒューズが切れたときは、各コードがショートしていないことを確認して、もとのヒューズと同じ容量の新しいヒューズと交換してください。(20A×2:KAC-829)(25A×1:KAC-629S) 指定以上の容量のヒューズを使用すると、火災などの事故につながりますのでご注意ください。

## セットのお手入れについて

本機の表面・パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のものを使用すると、傷がついたり文字が消えたりすることがありますのでご注意ください。

## セットの異常にお気づきのときは

万一セットの異常にお気づきのときは、バッテリーから本機のマイナス配線を外し、そのままの状

態で購入店、またはケンウッドサービスセンター・営業所へご連絡ください。

## 本機をご使用中は

本機の使用中はセット表面温度が高くなり、不注意に触ると火傷をすることもありますのでご注意ください。

ショートなどの事故を防ぐため、本機の内部に金属片や水が入らないようご注意ください。

## プロテクション機能

本機には、様々なトラブルから本機やスピーカーを守るため、プロテクション機能が搭載されています。

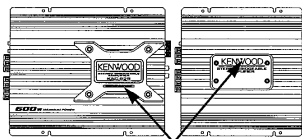
機能が働くと、パワーインジケータが消え本機の機能が停止します。

●パワーインジケータ  
電源がオンになると点灯するインジケータです。

電源をオンにしてもパワーインジケータが点灯しないときは、プロテクション機能が働いていることが考えられます。トラブルが発生していないかを確認してください。

以下のときプロテクション機能が働きます

- スピーカーコードがショートしたとき。
- スピーカー出力が車両のアースに接触したとき。
- 本機が故障し、スピーカー出力に直流電流が発生したとき。
- 内部が高温度になり動作できないとき。
- センターユニット (カセットレシーバー、CDレシーバーなど) または本機のアースコードがバッテリーのマイナス端子と通電している金属部分に接続されていないとき。



パワーインジケータ

# 取り付け/接続上のご注意

取扱説明書どりの取り付け・配線がされていない場合“無料修理規定”に準じた保証ができないことがありますので、本書をよくお読みになったうえで作業を行ってください。

## 取り付け手順

● 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

● 実施  
ご使用に合わせた接続や各スイッチの設定がありますので、取扱説明書をよく読み、正しい接続や設定を行ってください。接続や設定を間違えると、ノイズや音の出ない原因になります。

1. ご使用に合わせて各スイッチの設定をします。
2. センターユニットなどの入・出力ケーブルを接続します。
3. センターユニットと本機を、ご使用に合わせて接続します。
4. スピーカーコードを接続します。
5. 電源コード、パワーコントロールコード、アースコードの順番に接続します。
6. 各ユニットを車に取り付けます。
7. バッテリーのマイナス端子を接続します。
8. 電源を入れ、正常に音が出ることを確認します。

● 正常に音が出ない場合は、すぐに電源を切り接続を確認してください。

● 各スイッチの設定を替えるときは、電源をオフにしてから行ってください。

● ヒューズが切れたときはコード類がショートしていないか確認後、同じ容量のヒューズと交換してください。〔ヒューズが切れたときは〕を参照してください。

● 接続しないケーブルや端子はショート事故を防ぐため、ケーブルや端子に付いているキャップは外さないでください。(絶縁処理をしてください)

● スピーカーコードはそれぞれに対応するスピーカー端子に、別々に接続してください。スピーカーのマイナスコードを共通にしたり、車の金属部分に接続すると故障の原因になります。

● 接続終了後、車のブレーキランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することをご確認ください。

## 取り付けについて

以下の場所には取り付けしないでください。

- 不安定な場所
- 運転操作の妨げになる場所
- 水のかかる場所
- ほこりの多い場所
- 高温になる場所
- 直射日光のあたる場所
- 熱風のあたる場所

● 本機を使用中は本機の表面温度が高くなりますので、人体や樹脂などの熱に弱い物に触れる場所には取り付けしないでください。

● 本機をカーペットの下には取り付けしないでください。放熱が正常にできなくなり、故障の原因になります。

● 本機は放熱の良い場所に取り付け、また上に物などを置かないようにしてください。

● シート下やトランクルーム内などに穴をあけるときは、裏側にガソリタンクやブレーキパイプ、ワイヤーハーネスなどが無いか確認し、傷などを付けないようご注意ください。

● ダッシュボードやリアトレイ、エアバッグなど保安部品付近には取り付けしないでください。

● 車両への取り付けは、運転の妨げにならない場所に確実に固定してください。衝撃で外れた際に人体や保安部品に当たり、怪我や事故の原因になります。

# 保証とアフターサービス よくお読みください

## ●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## ●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙「ケンウッドサービス網一覧表」をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

## ●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因 (衝撃や水分、異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外となります。詳しくは保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

## ●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、以下の料金が必要です。)

・技術料: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

・部品代: 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

# 取り付け/接続上のご注意

## 電源の接続について

電源コードは、接続するユニットの最大消費電流を十分に流せるものを使用してください。細いコードを使用すると火災などの事故につながりますのでご注意ください。

別売の電源チューンアップケーブルを使用しバッテリーから直接接続してください。電源コードがバッテリーコードに接続すると車両のヒューズが切れる原因になります。

● エンジンをかけて「ヒューズ」という雑音が発生するときは、別売のランノイズフィルター (CN-610、CN-200) を電源コード間に接続してください。

● グロメットを使用して、コードが板金のエッジに触れないようにしてください。

● アースコードはバッテリーのマイナスと導通している車両の金属部分に接続してください。アースが確実に接続されていないときは、電源が入りません。

● 電源コードには、バッテリーの近くに保護用ヒューズを必ず取り付けください。保護用ヒューズの容量は、本機の最大消費電流に10A位をプラスしたヒューズを使用してください。

● 電源コードやアースコードは、車載用 (難燃性) の電源配線コードを使用してください。電源配線コードの電流容量は、保護用ヒューズ容量に10A位をプラスした (本機の最大消費電流プラス20A位) 電源配線コードを使用してください。

● パワーアンプを数台使用する場合は、電源配線コードや保護用ヒューズの電流容量が各アンプの最大消費電流の合計電流より大きいものを使用してください。

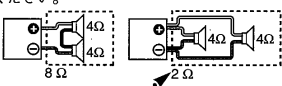
例) パワーアンプが1台の場合 (KAC-829)

最大消費電流	28 A	
保護用ヒューズ	50 A×1 または25 A×2	または 電源チューンアップケーブル (容量50~60A)
電源配線コードの断面積 (AWG / AVS)	5 mm <sup>2</sup> (AWG10 / AVS5) 以上	

## 接続するスピーカーについて

接続するスピーカーの定格入力、本機の最大出力 (ワット数) より大きいものを使用してください。スピーカーの入力が本機出力より小さいと発熱、故障の原因になります。

● 接続するスピーカーのインピーダンスは、2Ω以上 (ステレオ接続時) または、4Ω以上 (ブリッジ接続時) を使用してください。また、スピーカーを複数使用する場合は、スピーカーの合成インピーダンスを計算のうえ、適切なスピーカーと接続で使用してください。



合成インピーダンス

## ●スピーカー入力の使用について

● 最大出力が40W以下の純正カーステレオを接続してください。

● 別売のパワーアンプなど大出力なスピーカー出力を本機のスピーカー入力に接続すると、故障の原因となりますので行わないでください。

● RCAケーブル入力端子とスピーカー入力端子を同時に接続しないでください。故障の原因となります。

● パワーコントロールコードは、キースイッチでオン/オフできる電源 (ACCライン) に接続してください。このとき純正カーステレオの電源をオン/オフさせるとショック音が出ることがあります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。